

東久留米市教育委員会殿

学校名 東久留米市立西中学校

校長名 藪野 勝久

印

令和3年度教育課程について（届）

このことについて、東久留米市立学校の管理運営に関する規則第20条により、下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

◎賢く 優しく 逞しく ◎は今年度の重点項目

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 確かな学力の育成～学力向上

(ア) 確かな学力の向上

- ・各教科の「学ぶ意義」を明らかにし、共有ビジョンに向かって全教科で教科等横断的な取組を進め、各教科の「見方・考え方」を働かせながら生徒が全教科の学びを統合させて、社会における様々な場面で活用し、実社会や実生活で生きて働く力を身に付けられるようにする。
- ・毎時間の授業の到達目標を明確にし、その到達度を生徒自らが授業の終わりに判断し自己の課題を調整できるように授業を工夫する。また、生徒が学習の見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」を実現することで、「主体的・対話的で深い学び」の深化を目指す。
- ・生徒が課題を設定し、それを解決するために一人一台のタブレットPCを活用した学習に取り組みせるなどの工夫を行い、主体的に学ぶことの楽しさを体感させる。

イ 人権尊重と健やかな心と体の育成～健全育成～

(イ) 個性を認め合う教育の推進

- ・本校の教育目的である「良き社会人の育成」を達成できるよう、生徒たちが思いやりの心をもって他者と接したり相手を大切にしたりする中で、人権を尊重することの重要性に気付かせる。また、教職員は人権感覚を磨き、生徒一人一人を大切にしたい教育を推進し、体罰や不適切な言動等を行わないようにする。

(イ) 規範意識や他人への思いやりなど豊かな心を育む教育の推進

- ・特別の教科 道徳の授業をより一層充実させるために、教職員は内容項目の理解に努め、ねらいが明確な指導の工夫を行い、生徒が自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるとともに、自己の生き方について考えを深める学習指導を進める。

(イ) いじめ問題への対応

- ・いじめを許さない指導の充実を全教育活動で行い、全教育活動において、基本的な生活習慣、規範意識、人間関係を築く力、社会参画への意欲や態度を育成し、現在及び将来における人間としての生き方について深く考えさせる指導を行う。

ウ 信頼される学校づくり

(ウ) 各学校におけるカリキュラム・マネジメントの推進

- ・組織としての機能強化を図るために、組織の共有ビジョンを明確化し、ミドルリーダーの育成を強化し組織的に学校教育を充実しながら、各分掌や各学年の組織的な経営を充実させたり、各授業や教育指導等の個業を組織と連携させたりする。
- ・学校評価アンケートを改良し、地域や家庭で行っている教育と学校教育が相互に関係しながら生徒を育てていくことができるようにする。また、PTA役員と教職員の連携が強固である強みを生かして、学校教育の価値の広報を今以上に幅広く行う。

(ウ) 特別支援教育の充実

- ・個に応じた指導を充実させるため学校生活支援シート及び個別指導計画の作成及び活用を見直し、小中連携を更に強固にし、一貫して指導に当たることができるよう工夫を行う。

エ 学校の新しい生活様式に基づいた教育活動の実施

- ・「with ウイルス」の時代で、科学的根拠をもとに、どのように工夫して感染しない・させないようにするかを全ての教育活動で重点をおいて指導し、衛生観念の向上を通して感染症拡大防止に努める。

2 指導の重点

(1) 各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- (ア) 生徒の基礎的な学力を高め、主体的に学習に取り組むことができるようにする。
- ・定期考査及び国、都、市の学力調査や授業評価を活用して作成した「授業改善推進プラン」に基づき「確かな学力」の向上に向けて、指導内容と指導方法の工夫改善を図る。
 - ・「東京方式習熟度別指導ガイドライン（数学）」「東京方式少人数指導ガイドライン（英語）」を踏まえた授業を展開し、個に応じた指導を充実させるとともに、放課後の学習指導や長期休業中の支援体制を整える。
 - ・各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を習得し、既にもっている知識・技能と結び付けながら思考力・判断力・表現力を豊かなものとするよう学習活動を工夫し「主体的・対話的で深い学び」の深化を目指す。
 - ・生徒の国語力の向上に重点を置き、全教科で「読む力」と「書く力」の言語活動を充実させ教科等横断的な取組を進めることで、生徒の言語力向上を図る。
 - ・デジタル教科書や電子黒板機能付きプロジェクターを活用することにより生徒の視覚に訴える授業を展開し、生徒の理解度を上げる。
 - ・英語によるコミュニケーション能力の向上を図るため、英語で進める授業を実施するとともにALTの有効的な活用を図る。
- (イ) 自ら課題を見付け、自ら考え、よりよく課題を解決していく学力を育てる。
- ・生徒の思考を深めるための発問を投げかけたり、気付いていない視点を提示したりするなどして、「深い学び」の実現を図る学習環境を設定する。
 - ・意見交換・話し合い活動やプレゼンテーション等、言語活動を取り入れた授業実践を行い、自分の考えを示して交流できる力を高め、グローバル社会で活躍できる人材育成を図る。
 - ・体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を取り入れ、生徒が興味・関心に基づき自ら考える授業を実施する。
 - ・教職員相互の授業参観や授業準備の充実を図ることで、個を大切にし、生徒が意欲的に取り組む授業の研鑽を行う。
- (ウ) オリムピック・パラリンピック教育の推進
- ・オリンピック・パラリンピック東京大会を踏まえ、日本人としての自覚や誇りをもたせ、豊かな国際感覚を育むことで、グローバル社会で活躍できる人材、ボランティアマインドや障害者理解の心を育て思いやりのある生徒の育成、スポーツ志向を高め心身ともに健康でたくましい生徒の育成を学校レガシーとして遂行する。

イ 特別の教科 道徳

- (ア) 全体計画、年間指導計画に基づき、事前の学年会での検討を行うことで、指導内容を共有し評価も含め、全教員が同一歩調で組織的、計画的に実施する。重点をおく内容項目は共有ビジョンに通ずる「C（11）公正、公平、社会正義」とする。
- (イ) 事前の学年会での検討では、内容項目に関する理解の共有を重視し、学級間の差異を無くす。
- (ウ) 学習の成果が家庭、学校、その他社会における具体的な生活に生かせるように工夫する。
- (エ) 道徳授業地区公開講座等を活用して、保護者・地域の人々と連携した心の教育を推進する。

ウ 総合的な学習の時間

(ア) 人材育成

- ・日本人として自覚と豊かな感覚をもつことを目指し、「総合的な学習の時間」を通して自らの国の伝統・文化に根ざした自己の確立を図る。また、自らの考えや意見を発信し、具体的に行動する力の向上を図ることでグローバル社会で活躍できる人材育成を図る。

- (イ) 「主題 - 探究 - 表現」という学習方法を通して自ら課題を設定し主体的に学習する力を育成する。
- ・意欲的な取組とするために、生徒一人一人の興味・関心と意欲を大切にした課題を設定するとともに、年間指導計画に沿って実施する。
 - ・各教科で習得した各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を生かして学習できるよう工夫する。
 - ・体験的な活動を重視するとともに、特別活動の目的との整合性を図り、総合的な学習の時間のねらいを明確にした指導に努める。
 - ・キャリア教育の充実を図り「良き社会人」となるために、望ましい職業観・勤労観を育むとともに、キャリア・パスポートを活用しながら人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力などを高めるキャリア教育に関わる学習を推進する。

エ 特別活動

(ア) 学級活動

- ・自主的・自立的な活動を奨励し、自らの学校を自らの手で築こうとする自治意識と態度を育成する。
- ・「良き社会人」となるために必要な資質・能力を育むことができるように学年経営案と学級経営案を作成し、それらに基づき学級活動を意図的・計画的に実施する。
- ・第1学年での小集団リーダーの育成及び第2・3学年での学級リーダーの育成を目指し、役割と責任を明確にした指導を実践し、学級集団の質の向上に努める。
- ・東久留米市キャリア・パスポートを活用し、生徒に学びの振り返りをさせるとともに、教師が対話的に関わり、生徒が自己実現を図ろうとする態度を養う。

(イ) 生徒会活動

- ・生徒会活動に積極的に参加、協力させることにより、自主性・自律性や自治力を育てる。
- ・生徒会の議決に向けた学級と中央委員会相互の話し合い活動の取組を充実させ、民主的な手続きの理解を深めさせたり、地域に生きる社会人として地域でのボランティア活動に積極的に参加させたりしながら、社会に貢献する活動を充実させ、社会の一員としての自覚と自信、誇りをもたせる。

(ウ) 学校行事

- ・生徒自らが学校行事を積極的に立案・計画できる場面を意図的に設定し、リーダー育成を行うとともにフォロワーの育成も行い、学級・学年の団結力等を高め、集団への所属感を高める。
- ・生徒会活動を通して、連帯感・所属感を味わわせるとともに、集団の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。
- ・全身持久力を付けることに重点をおき、恵まれた学校環境とロードレース等の伝統的な体育的行事を生かした体育・健康教育を進める上で、新体力テストなどの結果を活用しながら指導改善を行い、健やかな身体や生活に必要な体力を育み、生涯スポーツにつなげる。
- ・先人の生き様を知る等の歴史を学ぶ意義を自己調整に生かすことで、自己理解を深めさせる。

(エ) 部活動

- ・学校教育活動の一環として捉え、スポーツ・文化等、興味と関心をもつ生徒が、教師の指導の下に、自発的・自主的に活動を行い、より高い水準の技能等に挑戦する中で、向上することの楽しさや喜びを味わい、学校生活に豊かさをもたらすようにすることをねらいとして実施する。

(2) 特色ある教育活動

- ア 一校一取組として、生徒会主催の全校スポーツレクリエーション「遊ぼうDay」を実施する。また、ロードレース大会やその練習を通して、困難を乗り越え、やり抜く力の育成を図る。
- イ 音楽の授業に重点を置き、合唱を通して学級の帰属意識を高めると共に情操教育に努める。
- ウ 小学校との連絡を密にし、小・中相互の授業参観・交流や協働的な教科指導・生活指導等の取組の充実を図る。また新入生体験授業や部活動体験等により中1ギャップの解消を図る。
- エ 心身の保持増進のため、食育リーダーや家庭科教諭と連携し、健康的な食育等の充実を図り、食事の重要性や食事の喜び、楽しさを理解させる。
- オ 校庭の芝生育成を進め、環境を改善するとともに生徒の豊かな情操を育む。

- カ 学校便りや学年便り、学級通信を通じて、副籍を置く生徒との交流事業を推進する。
- キ 社会労務士や商工会議所、税の教室など、様々な外部機関と連携した教育活動を推進する。
- ク 社会に開かれた学校の実現のため、日常の教育活動の価値を保護者・地域に広く発信する。また、教育活動の実践の評価を積極的に公表することで、地域との連携を強化し、地域に開かれ、地域に根ざした教育活動を展開する。
- ケ ロードレースを学校レガシーとし、生涯を通し健康的で豊かな生活を送るために、体力の向上を図り、自らの夢や高い理想、公德心をもった生徒を育てる。
- コ 学校図書館の有効利用を図り、朝読書や本の紹介等の読書活動を推進するとともに、言語能力の向上を目指す。また、朝読書等を推進し、本が好きな生徒を育成するとともに、確かな学力、豊かな人間性を醸成する基盤とする。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- (ア) 人権尊重と学習権を保証するために、一人一人の生徒が安心して生活できる学校をつくる。
 - ・ 基本的な生活習慣、ルールを守りマナーを心掛ける姿勢、自主的・自律的な態度をもった生徒を育てる。
 - ・ アンケートや面談、日頃の指導を通して、生徒間の望ましい人間関係を育てる。
 - ・ 「いじめ防止対策委員会」で「学校いじめ防止基本方針」を見直し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応方法を検討し、いじめ防止に向けた組織的な取組を構築する。
 - ・ 人権尊重の理念に基づき「ふれあい月間」「人権作文」等の取組をはじめとして全ての教育活動を通して、生命尊重・人間尊重の精神の涵養に努め、偏見や差別を許さない学校風土を構築する。
 - ・ 気持ちよく学校生活を送るための校内美化の充実を図るために、正しい清掃方法を指導する。
- (イ) 一人一人の生徒の人格を尊重し、心の触れ合いを大切に生徒指導を行う。
 - ・ 「学校生活のアンケート」や個別面談を行い、いじめ、不登校、暴力行為等の問題行動の未然防止、早期発見、早期対応に努め、生徒が互いに認め合い共に学び合うことができる学校づくりを行う。
 - ・ スクールカウンセラーの活用や教育相談の充実を図り、不安な気持ちでいる生徒へ配慮を行う。
- (ウ) 健全育成を図る指導体制を築く。
 - ・ 学校の社会的役割を共通理解し、家庭、地域社会及び関係諸機関との一層の連携を図るとともに、指導にあたっては保護者の協力体制を得ながら指導を行う。
 - ・ 生徒が情報モラルを身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークを適切に活用できる指導を行う。
 - ・ 不登校生徒や特別な支援を必要とする生徒に対して、担任を中心に保護者や養護教諭、スクールカウンセラー及び関係諸機関等が互いに連絡を密にするなど、指導体制を整える。
 - ・ 青少年健全育成協議会と連携し、滝山みんなの祭りへの参加協力、地域清掃など、ボランティア精神の高揚を目的とした活動を推進する。
 - ・ 外部講師を招き、発達段階に応じた薬物乱用防止教室を実施する。
- (エ) 防災・安全についての指導を充実させ、危機管理能力を高める。
 - ・ 年間指導計画に基づき、計画的に避難訓練・安全指導、セーフティ教室を実施し、緊急時に自ら危険を回避する態度や能力を育むとともに、生涯にわたって積極的に事故防止や健康・安全に対する適正な判断ができる能力を養い、実践する習慣を身に付けさせる。
 - ・ 青少年健全育成協議会や地域の自治会と連携した防災訓練を通して、中学生としての役割を自覚させ、地域に貢献する態度を育成する。
 - ・ 生徒の犯罪被害を防止し、情報モラル教育を推進するために、セーフティ教室を実施する。
 - ・ いじめや児童虐待の早期解決や自殺等の防止に向け、「SOSの出し方に関する教育」を推進する。
 - ・ 毎月の避難訓練と安全指導を通して、生徒が自ら危険を回避する態度や能力を養う。

イ 進路指導

- (ア) 「良き社会人」に成長し、「良き社会人」として社会に貢献する意欲を育む。
- (イ) 自らの生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、キャリア指導の充実を図る。
- (ウ) 進路指導の年間指導計画に基づき、学年ごとに指導内容の具体化を図るとともに、自分の特性を見極め、自ら職業選択できる力を身に付けさせるために、学級活動、総合的な学習の時間で「明るい将来像」を描ける指導の工夫を行う。
- (エ) 望ましい勤労観・職業観を身に付けさせるために、自己理解を深めさせるとともに、職業や進路に対する正しい知識の獲得を図る。また、その一環として第 1 学年で「身近な人の職業調べ」、第 2 学年で「職場体験」をはじめとした職業観・勤労観についての学習を実施する。
- (オ) 生徒が「自分の道を自分で切り拓く」ように一人一人の願いを把握し、よさを発見し、認め、励ましていくとともに情報提供の充実を図る。
- (カ) 進路指導の年間指導計画に基づき学年ごとに指導内容の具体化を図る。

(4) 特別支援教育

ア 特別支援教育

- (ア) ・特別支援教育コーディネーターを中心に特別支援教育の推進に組織的に取り組み、個に応じた指導体制を確立する。
 - ・週に一度の教育相談部会において、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携を図り、多面的・多角的な支援の方法や情報の共有を図る。生徒一人一人に応じたアセスメントを迅速に行い、そのアセスメントを元に個別支援シートを組織で共有・活用し、組織で対応していく。
- (イ) 共生社会に向けた素地をつくるために、行事や部活動等を通して特別支援学級 I 組との組織的な対応を行い積極的な交流を図る。

イ 特別支援教室

- (ア) 学校生活支援シート及び連携型個別指導計画、個別支援シートを活用し、情報を共有しながら個に応じた指導を行う。また、必要に応じて個に応じた合理的配慮を行う。

第3表の1

学校名 東久留米市立西中学校

3 学年別授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

月 学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	18	19	22	15	3	20	22	20	18	15	18	18	208
2	18	19	22	14	4	20	22	20	18	15	18	18	208
3	18	19	22	14	4	20	22	20	18	15	18	14	204
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は入学式を4月7日（水）に実施するため1日減。 ・2年生3年生は入学式に参列しないため1日減。 ・3年生は卒業式を3月18日（金）に実施するため4日減。 ・5月29日（土）を運動会とし、5月31日（月）を振替休業日とする。 ・10月16日（土）の学校一斉公開日については振替休業日を設定しない。 ・土曜授業日は4月17日、5月15日、6月19日、10月16日、11月6日の5回設定し、6月21日と11月8日に振替休業日を設定、それ以外は設定しない。 ・3年生は修学旅行を10月3日（日）に実施し、振替休業日は設定しない。 												

(2) 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動の年間授業時数配当表

区 分		学 年	1	2	3
各 教 科	国 語		147	146	110
	社 会		109	109	145
	数 学		145	108	145
	理 科		109	145	145
	音 楽		46	36	36
	美 術		46	36	36
	保 健 体 育		108	108	108
	技 術 ・ 家 庭		72	72	36
	外 国 語 (英 語)		145	144	145
	小 計		927	904	906
特別の教科 道 徳			36	36	36
総合的な学習の時間			59	73	73
特別活動 (学級活動)			40	38	37
総 計			1062	1051	1052
備 考					
<p>ア 1単位時間は50分とする</p> <p>イ 特別活動 学級活動は年間35時間以上を確保する。</p> <p>ウ その他 1年生は、自ら課題を設定し主体的に学習しようとする力の素地を作るために学級活動と総合的な学習の時間を充実させる。</p>					

第4表の1

学校名 東久留米市立西中学校

4 学校行事

月日 曜・行事	4		5		6		7		8		9	
	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事
1	木		⊕		火		木		日	オリパラ観戦(2)	水	安全指導
2	金		⊕		水		金		月	オリパラ観戦(3)	木	
3	土		⊕	憲法記念日	木		⊕		火		金	
4	日		⊕	みどりの日	金		⊕		水		⊕	
5	月	春季休業日終	⊕	こどもの日	⊕		月		木		⊕	
6	火	始業式	木		⊕		火	安全指導	金		月	
7	水	入学式	金	開校記念日 離任式	月	水泳指導始	水		土		火	
8	木	安全指導	⊕		火		木		日	山の日	水	
9	金		⊕		水	安全指導	金		月	振替休日	木	
10	⊕		月		木		⊕		火	学校閉庁日始	金	避難訓練
11	⊕		火		金		⊕		水		⊕	
12	月		水	中間考査始 避難訓練	⊕		月		木		⊕	
13	火		木	中間考査終	⊕		火		金	学校閉庁日終	月	
14	水		金	音楽鑑賞教室(2)	月		水	避難訓練	土		火	
15	木	定期健康診断始	土	土曜授業	火		木		日		水	
16	金		⊕		水	小中連携の日 定期健康診断終	金		月		木	
17	土	土曜授業 避難訓練 セーフティ教室	月		木		⊕		火		金	
18	⊕		火		金		⊕		水		⊕	
19	月		水		土	土曜授業	月	大掃除	木		⊕	
20	火		木		⊕		火	終業式	金		⊕	敬老の日
21	水		金	安全指導	⊕	振替休業日	水	夏季休業日始	土		火	中間考査始
22	木		⊕		火	避難訓練	木	海の日	日		水	中間考査終
23	金		⊕		水		金	スポーツの日	月		⊕	秋分の日
24	⊕		月		木		土		火		金	
25	⊕		火		金		日		水		⊕	
26	月		水		⊕		月		木	夏季休業日終	⊕	
27	火		木	国学力調査(3)	⊕		火		金	始業式	月	
28	水		金		月	期末考査始	水		⊕		火	移動教室(1)
29	⊕	昭和の日	土	運動会	火		木		⊕		水	小中連携の日
30	金		⊕		水	期末考査終	金	水泳指導終	月		木	
31			⊕	振替休業日			土	オリパラ観戦(1)	火			

第4表の2

学校名 東久留米市立西中学校

月日 曜・行事	10		11		12		1		2		3	
	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事	曜	行事
1	金	都民の日	月		水		土	元日	火		火	
2	⊕		火		木		日		水		水	
3	⊕	修学旅行始(3)	⊕	文化の日	金		月		木		木	安全指導
4	月		木	安全指導	⊕		火		金	市学力調査(2)	金	学習発表会
5	火	職場体験始(2) 修学旅行終(3)	金		⊕		水		⊕		⊕	
6	水		土	土曜授業	月		木		⊕		⊕	
7	木	移動教室(1) 職場体験終(2)	⊕		火		金	冬季休業日終	月		月	
8	金	安全指導	⊕	振替休業日	水		⊕		火		火	薬物乱用防止教室(3)
9	⊕		火		木		⊕		水		水	合唱コンクール
10	⊕		水	小中連携の日	金	安全指導	⊕	成人の日	木		木	
11	月		木		⊕		火	始業式 安全指導	⊕	建国記念の日	金	
12	火		金		⊕		水		⊕		⊕	
13	水		⊕		月		木		⊕		⊕	
14	木		⊕		火		金		月		月	避難訓練 球技大会(3)
15	金		月		水		⊕		火		火	
16	土	学校一斉公開日 ロードレース大会 避難訓練	火	期末考査始 避難訓練	木		⊕		水		水	
17	⊕		水		金		月		木	安全指導	木	
18	月		木	期末考査終 薬物乱用防止教室(12)	⊕		火		金		金	卒業式
19	火		金		⊕		水		⊕		⊕	
20	水		⊕		月	避難訓練	木	校外学習(2)	⊕		⊕	
21	木		⊕		火		金	避難訓練	月		⊕	春分の日
22	金		月		水		⊕		火	学年末考査始	火	球技大会(1)
23	⊕		⊕	勤労感謝の日	木	大掃除	⊕		⊕	天皇誕生日	水	球技大会(2)
24	⊕		水		金	終業式	月		木	避難訓練	木	大掃除
25	月		木		⊕		火		金	学年末考査終	金	修了式
26	火	移動教室(2)始	金		日	冬季休業日始	水		⊕		土	春季休業日始
27	水		⊕		月		木		⊕		日	
28	木	移動教室(2)終	⊕		火		金		月		月	
29	金		月		水		⊕		\		火	
30	⊕		火		木		⊕		\		水	
31	⊕		\		金		月		\		木	